

\*\*\*\*\*



# 人とクルマの、やさしい未来へ。

古河AS株式会社 広報室

\*\*\*\*\*

## ご挨拶

この度は古河ASをご紹介いただける機会を賜り、大変ありがとうございます。

当社は自動車をはじめとするモビリティ市場に製品を供給しております。

今後ともSDGs貢献と持続的成長の両立を目指し「電動化に対応した環境にやさしい製品拡大」でカーボンニュートラルを推進し、人とクルマのやさしい未来にむけて会社一丸となって活動してまいります。



代表取締役社長 阿部 茂信

## 会社概要

当社は「世紀を超えて培ってきた素材力をベースとして、絶え間ない技術革新により、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献する」ことを基本理念にしています。モビリティの機能を最大限に発揮させる、人間の体でいえば神経や血管にあたるワイヤハーネスならびに機能製品として電子・電装部品の開発、設計、製造に取り組んでいます。

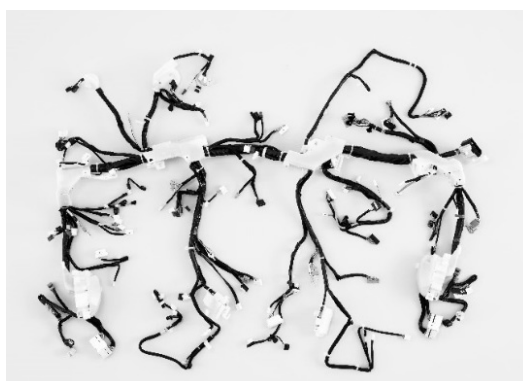
### 【会社沿革】

- 1950年 「近江電線株式会社」として設立、古河電気工業の協力工場として操業
- 1960年 ワイヤハーネスの量産を開始
- 1961年～ 古河電気工業が資本参加
- 1985年 滋賀県甲良町に滋賀工場（現本社）を開設
- 1996年～ 本格的に海外での製造を開始
- 2000年 会社設立50周年を機に社名を「古河オートモーティブパーツ株式会社」に変更
- 2007年 古河電気工業の自動車部品事業を継承「古河AS株式会社」(Furukawa Automotive Systems Inc.)に社名変更

## 技術と製品

### ・ワイヤリング技術

従来から使われている銅素材に加え、素材技術と加工技術を融合させたアルミワイヤハーネスと、防食性に優れた独自の「α端子®」が提供する軽量化は「カーボンニュートラル」に貢献する製品として、お客様から高い信頼をいただけるようになりました。電動化やモビリティの多様化が進むなか、さらに信頼性の高い製品を開発しています。



ワイヤハーネス

### ・機能製品（電子・電装部品）

世界シェアトップであるステアリング・ロール・コネクタ（SRC）、バッテリーの状態を監視するBSS®

(鉛バッテリー状態検知センサ) はモビリティの安全性、信頼性の向上に寄与しています。



ステアリング・ロール・コネクタ (SRC)



BSS® (バッテリーに取り付けた状態)

周辺監視レーダも「より安全」な技術として、モビリティへの搭載はもとより、インフラ側からも「安全」を見守る技術として需要が高まり、採用が拡大しています。



周辺監視レーダMMR2.0

当社は最先端のワイヤリング技術、小型・軽量化技術でモビリティの様々なニーズと進化に迅速に対応し、高品質でオリジナリティあふれた製品群を総合システムメーカーとして提供していきます。

## 本紹介

本社(滋賀)は、本社機能に加え、製造と生産にかかわる技術の開発や工場をオペレーションする人材育成のマザー工場としての役割を担い、また日本国内27拠点、海外12ヵ国24拠点のブレンセンターとしての機能を果たしています。

本社の社屋は2014年に竣工した建物で、同年に日経ニューオフィス賞を受賞。敷地横を走る東海道新幹線や近江鉄道の車窓からも建屋をご覧いただけます。外壁の装飾レンガには信楽焼を、1階の床は地元産の川砂利を使用。社屋内は太陽光を取り入れる構造の建築デザインとなっており、広々とした風景の中でその外観は地域のランドマークになっています。



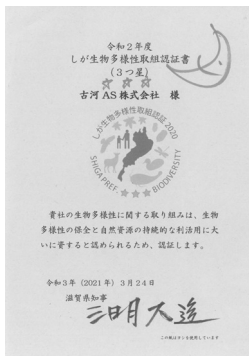
本社社屋

## SDGsへの取り組み

滋賀県には日本一大きな湖、琵琶湖があり、環境への意識が高い地域です。その中で事業活動をする当社は2020年3月に「しが生物多様性認証制度」において最高レベルの3つ星の認証を受けることができました。ISO14001に基づく事業活動における環境負荷軽減策の推進に加え、地域における清掃活動、絶滅危惧Ⅱ類および滋賀県の指定希少野生動植物種に指定されている「オキナグサ」の育成が評価されました。古河電工グループ全体で育成に取り組んでいる「オキナグサ」は、本社では多くの花を咲かせています。社員一丸となって一つのことに取り組み、大事に育てていることが大きな成果となりました。



本社玄関前花壇のオキナグサ



しが生物多様性取組 3つ星認証2020



オキナグサの開花

加えて、SDGsへの取り組みとして、本社、三重工場に太陽光発電を導入しました。海外の製造拠点においても再生可能エネルギー導入を推進しており、カーボンニュートラルの達成に向け、製品のライフサイクル全体でのCO<sub>2</sub>削減に取り組んでいます。さらに未来への取り組みとして、滋賀県が推進する「Mother Lake Goals」\*1「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」ムーブメント」\*2に賛同し、SDGsの推進、カーボンニュートラルへさらに貢献していきます。

また当社では、会社組織の活性化と従業員が個々の能力を十分に発揮できるように、安全で働きやす

い職場環境づくりにも取り組んでいます。個々人の価値観を大切にし、仕事と生活の両輪がバランスよくスムーズに回転し、個人の能力が発揮され、人生が充実するように、ワークライフバランスへの取り組みをいち早く推進しています。2016年、滋賀県内では、いち早く世代育成に積極的に取り組む企業としてプラチナくるみん認定を受けました。

\*1「Mother Lake Goals」

琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定

\*2「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」ムーブメント」

琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境を守り、豪雨災害等に強い持続可能な社会を次世代に引き継ぐため、県民、事業者、行政が一丸となり、2050年に滋賀県内のCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにすることを指すもの



プラチナくるみん

最後に

2022年4月に当社のアイデンティティとなる企業メッセージ「人とクルマの、やさしい未来へ。」を策定しました。地球環境、社会、人にやさしい事業活動を行っていく決意をメッセージに込めています。これからもカーボンニュートラルを推進し、安全で安心・快適なモビリティ社会の実現にむけて活動してまいります。

ご拝読ありがとうございました。

【古河AS株式会社データファイル】

本社: 滋賀県犬上郡甲良町尼子1000

URL: <https://www.furukawaas.co.jp/>

